

やあー。きょうは三人の方が来会され、第三分区代理の有田峰次郎さんもそのお一人です。有田さんは郷土史家で、きょうは卓話をお願いして日本人第一号ロータリアン福島喜三次さんのことを話していただきました。▼福島さんは有田町本町出身で、長崎高商、一橋大をへて三井物産アメリカ勤務、大正四年(当時34)にアメリカ・ダラスで日本人初のロータリアンになります。米山梅吉(当時50)さんは大正六年十月に日本政府特派財政経済委員としてアメリカに渡ります。翌大正七年一月に二人は出会い、地元ロータリークラブ例会をのぞきあることが「ピカッ」と閃くのです。▼大正九年十月、二人は東京RCを立ち上げることに成功。福島さんはダラスでの例会体験をここで一気に開花させ、知識と知恵を全部投入しました。会長は表舞台で夢の構想説明と会員募集に奔走、幹事は舞台裏で会場設営、仕組みや運営に心血を注いだことでしょう。▼あれから七八年の歳月が流れ、米山梅吉をたたえ語る人はいても福島喜三次を語る人は少なくなりました。クラブ運営を考えてみてください。幹事の苦勞は並ではありませんね。幹事あつての会長です(失礼)。梅吉「喜三次さん、あんたのお陰や」。喜三次「いいえ、米山さんの努力ですよ」。昭和二年四月二八日梅吉歿、喜三次同年九月二五日歿。有田さんに感謝。九八年六月二日

やあー。六月例会もあと三回残すのみとなり、後続者とのタッチゾーンに入りました。私は、きょう臨時SAAの役を担当しましたが、左横に見える西富幸一会長と高岸新太郎幹事の顔に安堵の笑みが見えました。▼卓話の先発は林睦敏さんです。パラオ島のロータリークラブでメークアップした時の話は新鮮で興味ぶかく聞きました。三四名のメンバーが大歓迎してくれて、一番心配していた言葉の壁は「身振り手振り」で解決したと会場を沸かせました。持ち帰ったバナーや週報など拝見しましたがユニークで参考になりました。既にバナー交換が36RCと交わされていて、さらに国際交流が進んでいるようです。「言葉の壁を恐れることなく、まず行ってみることだ」と言葉を結ばれたのが強く印象に残りました。感謝。▼卓話の後発は高岸新太郎さん。クラブで一番若く、しかもはやばやと幹事の大役が回った強運の人です。西富幸一会長のもとで、わがクラブを切り盛りした幹事役のこの一年は、人知れぬ苦勞の連続だったでしょうが、その貴重な体験は人生にプラス効果として幾倍にもなってるリターンするのではないでしょうか。「血液型と相性」について話され、会長幹事の組み合わせなど会員の生データがあるだけに会場は爆笑また爆笑でした。▼岩永ブレシアさん「ダマヤン会」終了で感謝のあいさつ。感謝。九八年六月九日

光ることは・・・

佐賀大和ロータリークラブ

221

やあー。秋丸力哉さん、若林光義さんに卓話がまわってきました。秋丸さんは理容師で若い社員への技術移転に懸命な毎日がつづいています。彼の店は、入り口で元気な声が「いらっしやいませ」と出迎えてくれます。「ご指名がありますか」と問われて照れたことを思い出しました。私の頭には「ご指名・・・」とはネオン街にしかなかったからです。「うん・・・時代がかわったな」と一人でうなずいたことでした。▼若い理容師がコンテストに挑んだときに、秋丸さんがいったひと言がありました。「若いましか出来ないことがある。挑戦しなさい。自分と戦いなさい」と励ましたのです。若い理容師はやや不器用で精神的に弱い面をもち、ものごとを中途半端にしていたのです。が、そのひとことに強くはげまされ「あきらめない」という能力が花咲いて見事入賞したというのです。「審査員と思うな、お客さまと思え」「負けたら監督、勝てば選手」「お客さまを察する力」など元氣のてる話にすっかり感激。▼一七日の佐賀新聞に佐商野球部監督だった故板谷英隆さん（当時8）と田中公士さん（当時甲子園制覇監督）の会話が載っていて、板谷さんはいつも「大胆に、定石にとらわれず、積極的にいきなさい」といったとありました。戦後二度目のマイナス成長率○・七%と混迷する経営環境にもヒントあり。九八年六月一六日

小さな努力・・・

佐賀大和ロータリークラブ

222

やあー。佐賀大和RCの例会も四年目があと一回で終了します。今年はやあー。研修旅行をしないかわりに家族懇親会が開催されました。大和屋さんの二階の大部屋は家族もふくめて一杯になりました。家族の参加も回をかきねるごとにふえて賑わいをましました。▼東興二・岩永プレシリア・上野倫五・上滝忠吉・寺崎正三郎・中西弘・牧瀬勝将・松尾一行・山田浩将・吉田政亮の皆さんと堤和之は、この一年間、努力して皆出席を果たした人達です。全体の三五%の方々です。一口に皆出席といっても年間に五〇回ちかく例会に出席するには並々ならぬ出席のための努力があります。なかには創立以来、皆出席の猛者も数人いるのです。▼西富幸一会長から、参加者の家族が見守るなかで皆出席の方々に努力賞が授与されました。賞品は「佐賀牛」のバック詰です。おいしい霜ふり肉で一度には食べ切れないうほどでした。わが家では「しゃぶしゃぶ」にしましたが「おいしい」の連発でした。あと数回は食卓を賑わすことになりそうです。「小さな努力」が賞となり日ごろの努力が報われたとすっかり嬉しくなりました。▼西富会長、高岸幹事、事務の石田美奈子さんに、松尾一行次期会長、上滝忠吉次期幹事それぞれから花束を贈呈して感謝しました。最後は家族そろって「手に手つないで」を大合唱。外は梅雨。小雨です。九八年六月二七日

八重桜は語りつく

佐賀大和ロータリークラブ

223

やあー。きょうは梅雨空で小雨のなかの記念植樹です。場所は標高差一五〇メートルの高台にある巨石パーク管理棟のある広場です。そこに「若々しい八重桜」を一本、たくましい少年の樹を植樹しました。▼かつて平成六年にクラブが創立されたときに提唱したなかに「ロータリーの森構想」がありました。私たちは今世紀に母なる地球を大きく痛みつけました。それでも母なる地球はなお、私たちの愚かさを慈しみの目で見守ってくれました。ここにきてやっとそのことに気がつきました。「ロータリー森構想」の動機はそうして生まれました。幸いにも巨石パークという格好の環境が、植樹を継続することにつながりました。小雨にぬれた公園の緑がひときわ鮮やかでした。▼松永哲雄大和町長、坂田英敏商工観光課長が、お忙しいなかをご出席いただき、松永町長から心暖まる謝辞をいただきました。パーク内を松永町長にご案内していただきながら、わが町の五年先、一〇年先いや二〇年先の全体構想をお聞きして、平成不況のなかでしばみがちな胸にポツと明るいランプが灯りました。感謝。▼植樹と造園のお世話は会員の中原進さんのご好意です。感謝。計画から実行まで荒巻正典地域発展委員長ほか委員の皆さんにお世話になりました。感謝。その荒巻さんは今期で退会され誠に残念です。井手一文さん転勤。九八年六月三〇日

あとがき

佐賀大和ロータリークラブ

224

やあー。今年はまだ台風がこないですね。いや心待ちしているわけではありませんが来るものがこないとなんだか心配ですね。それと佐賀地方は梅雨明け宣言が七月三日にだされてこれも驚きでした。先日、ペルー沖に発生するエルニーニョ現象が平穏だったという記事を見ました。エルニーニョとは、スペイン語で「神の子」というんだそうです。ペルー沖は通常だと水温が二度ほどですが十二月から三月までは三度ほど上昇してバナナやココナツの収穫期をむかえるそうです。その水温上昇が大規模になると世界の気象が狂ってくるのですね。(ロータリーの友・七月号)▼国内ではなんでも金融不安が収まらず、ビッグバンで外国の金融機関が日本に上陸して合併やら合併が進み、弱体化した日本経済は無様な姿を露呈しましたね。株価は一六千円台を為替は一三九円台と苦境を脱しきれないようです。このような先行き不安は国内企業によいはずがありません。▼さて、皆さんの励ましでロータリーはがき発行は四年目を終えました。実に楽しい日々であり例会を寸描することが私にとつての生きがいのようにになりました。同時に貴重な歴史を刻むことになりました。過ぎた日々をこのような形で振返ることができて喜んでいきます。感謝、感謝。九八年六月末日

会社案内

会社名 株式会社 シグマ
代表者 代表取締役会長 堤 和之
営業内容 電気配線工事、節電システム工事、空調設備工事、コーゼ
ネ・システムなど設計施工管理。電気機器製造販売。
特にメンテナンスを重視。

資本金 二〇〇万円
創立 昭和四十二年三月
所在地 本社 佐賀市鍋島町大字八戸三〇〇五 千八四〇一〇八五七
☎0952-26-7661
小城 小城郡小城町大字晴気八八の一 千八四五一〇二四
☎0952-73-4171
鳥栖 鳥栖市蔵上町字野田六九九の一 千八四一〇〇五四
☎0942-84-2981
鍋島 佐賀市鍋島六丁目八一 千八四九一〇九三七
☎0952-34-1806
経営理念 夢・・・こえて感動

堤 和之 つつみ かずゆき

1935年

満州国長春市生まれ

1957年

佐賀県立佐賀工業高校・電気科卒業

1957年から1967年

(株)九電工 勤務

1967年3月

(株)シグマ電工を創業、現在に至る
生活信条 初心を貫く・・・

関係団体

佐賀電気工業協組 監事

佐賀大和ロータリークラブ会員 94-95 初代会長

小城商工会議所 議員

E, mail INET: LDW 04714 @nifty serve. or. jp

ロータリーの友贈り物

43.12
14153
ロータリー友贈

お元気ですか(ハガキで失礼します)
パート4

著者 堤 和之
発行日 平成10年8月
発行者 山本和子
印刷製本所 印刷企画 スマイルトマト
佐賀市金立町大字千布2307-2
☎0952-98-2339

43.12